

福島県臨床検査技師会公益事業報告

12月1日の世界エイズデーに先立って、11月16日(金)に郡山市保健所からの支援要請を受け「エイズ予防啓発キャンペーン」を実施しました。郡山市保健所と共に毎年実施しているもので、今年も郡山駅前西口広場で開催されるビッグツリーページェント・フェスタ IN KORIYAMA の点灯式に合わせての実施となりました。

時期的に寒さが心配されましたが、風もなく穏やかな天候に恵まれ郡山駅前には多くの人々が集まっていました。

福臨技会員から12名、郡山市保健所から4名の計16名で、午後4時から約1時間、啓発パンフレット、検査案内、ティッシュ、使い捨てカイロ等など1000セットを配布いたしました。昨年同様、技師会の法被を着ての活動となり、概ね好意的に受け取っていただいたようです。

近年、梅毒の罹患が増加していることがマスコミ等で騒がれておりますが、その陰でエイズの罹患も増加傾向にあると言われております。エイズをはじめ、このような啓発活動を継続していくことは重要であり、臨床検査に携わる我々の責務であると考えます。

県南支部をはじめ、遠方より各支部の皆様にご協力頂きまして、無事終了することができました。この場をお借りしまして御礼申し上げます。

文責：滝澤 貴叙

